



午前11時40分 開会

○分科会委員長（佐々木雄司君） 改めまして、皆さんお疲れさまでございます。

ただいまから予算審査特別委員会産業建設分科会を開会したいと思います。

これから分科会の審査に入らせていただきたいと思います。

当分科会の審査対象は、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の産業建設常任委員会所管部分及び議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の産業建設常任委員会所管部分の2件であります。

それでは、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の産業建設常任委員会所管部分についてを議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部からの補足説明がありましたらよろしくお願いします。

なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言うてから行うようお願いいたします。

それでは、産業振興部のほうから。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 本件につきましては、本会議場で説明のとおりでございます。補足説明はございません。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 建設事業部はどうですか。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 補足説明がありますので、建設課、上下水道課長より行います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）について、建設課から補足説明させていただきます。

補正予算書30、31ページ、補正予算説明資料10、11ページをお願いいたします。

下のほうになります。6、農林水産業費、1、農業費、5、農地費として県営事業の集落基盤整備事業及び斎富、南方地区圃場整備事業の追加割当てにより負担金を1,619万8,000円増額し、また実績見込みにより委託料、工事請負費等を減額する予定としております。

次に、補正予算書は同じページ、補正予算説明資料12、13ページをお願いいたします。

6、農林水産業費、2、林業費、1、林業総務費として、実績見込みにより負担金を減額する予定としております。

続きまして、補正予算書32、33ページ、補正予算説明資料は同じページをお願いいたしま

す。

8、土木費、1、土木管理費、1、土木総務費として、美作岡山道路事業の実績見込みにより負担金を1,400万円減額し、また、実績見込みにより委託料を減額する予定としております。

続きまして、8、土木費、2、道路橋梁費、2、道路維持費として、国の3次補正に伴い委託料を300万円、工事請負費を700万円増額する予定としております。

続きまして、8、土木費、2、道路橋梁費、3、道路新設改良費として、国の3次補正に伴い工事請負費を643万4,000円増額し、また、実績見込みにより委託料を減額する予定としております。

続きまして、8、土木費、4、都市計画費、1、都市計画総務費として、実績見込みにより報酬、報償費、補助金を減額する予定としております。

次に、補正予算説明資料68、69ページをお願いいたします。

ごみ関連周辺整備事業、正崎堰改修事業、ため池改修事業、道路改良事業、橋梁補修事業等について、国の3次補正による追加割当て、関係機関との協議、用地補償交渉等の不測の事態により本年度の完了が困難となったため、次年度への繰越しを予定しております。

以上で建設課の説明を終わります。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） それでは、引き続いて上下水道課の関係の補足説明をさせていただきます。

補正予算書は29ページになります。

4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、合併浄化槽設置補助金についてです。当初予算の37基から実績の17基となりましたので、979万4,000円を減額補正するものです。

これに関わるものとしては、補正予算書15ページ、16款国庫支出金、2項国庫補助金、3目衛生費国庫補助金、1節環境衛生費補助金によります循環型社会形成推進交付金の414万円の減額。併せて、補正予算書17ページになります。17款県支出金、2項県補助金、3目衛生費県補助金、2節環境衛生費補助金によります浄化槽設置促進費補助金の245万4,000円の減額を予定しております。

変わりました、説明資料では10ページ、11ページになります。

4款衛生費、3項上水道費、1目上水道施設費、24節投資及び出資金、県広域水道企業団への出資金を実績見込みにより1,292万4,000円の減額補正を予定しております。

以上で補足説明を終わります。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

質疑については部ごとに受けたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、まず産業振興部関係について質疑を受けたいと思います。

質疑ありますでしょうか。

○分科会副委員長（保田 守君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 松くい虫のことで聞きたいんですけど、山陽……。

○分科会委員長（佐々木雄司君） これは補正ですよ。補正予算の範囲でお願いいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 31ページの企業誘致奨励金のことについてちょっとお伺いしたいんです。

2,800万円の減額というようなことの中で、当初計画との関わりについてもう少し詳しく説明いただきたいんです。企業誘致が当初計画しておきながらなぜ2,800万円も減額をしなければならないことになったのかということについて説明をいただきたいと思います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、佐藤委員の御質問にお答えいたします。

企業誘致奨励金では、市内の公的団地や民有地を取得し、または賃借した製造工場等を建設し操業を開始した企業に対して固定資産評価額に基づいて固定資産税相当額を交付するものでございます。

今回の減額の大きな要因といたしましては、予定しておりました企業さんの操業計画に遅れが出たため、当初7者を予定しておりましたが、今回実績で6者となる見込みでございます。こういったことから、企業誘致奨励金の減額を行うものでございます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） ちょっとよく分からないんですけど、固定資産の関係については、これは分かるんです。ただ、7者を計画しておって6者が該当して、1者が該当しないがために2,800万円の減額になったという解釈でよろしいのでしょうか。そのことについて再度お伺いしたいと思います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 大きな要因としましては、今御説明したとおりの7者が6者になったということなのですが、当初予算を計画するときに、どうしても企業さんの投資額であったりそういった部分を予算に計上させていただいております。そういったことから、どうしても固定資産税評価額と取得価格なんかの差が出る場合がございます。そういった関係で、今回2,800万円の減額というようになっております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私はよく分からないんですけど、当初の計画は非常にやり方が、言い方がちょっと悪いかもしれませんが、いいかげんなやり方をしておられるように見受けられるんですね。もうちょっと予算立てをされるときに綿密に予算を計上しておれば、見込みの中で予算を計上するというやり方は、私はあまりよくないのではないかなというふうに思うんですけど、その辺の当初計画の誤りがあったのではないかというふうに思いますけど、そのことについてはいかがでしょうか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 佐藤委員の御質問にお答えいたします。

どうしても投資額から固定資産税評価額を算出することがなかなか難しいものですから、投資額を参考にさせていただいております。見込みが甘いのではないかという御指摘でございます。今後はもう少し精査をさせていただきたいと思います。

以上です。

○委員（佐藤武文君） よろしいです。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、産業振興部所管部分についてはこれで終わりたいと思います。

続きまして、建設事業部の所管部分につきまして、委員の皆様の方で質疑がありましたらよろしくお願ひします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 33ページの美作岡山道路負担金の1,400万円の減額。当初の計画からしてみれば、1,400万円も減額されるということについては非常に計画的にも大きな金額になっております。先ほども申し上げましたように、当初の計画があまりにもずさんであったがために1,400万円の減額になったのか、入札の関係でこうなったのか、その辺のことについては

よく分からないんですけど、このことについての御説明をいただきたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 美作岡山道路負担金の減額の理由についてですけれども、当初の予定では、吉井インターからその先、北へ向かっての調査、設計等の負担金として1,400万円計上しておりましたが、今回は市の負担が発生しない測量のみの業務実施となったため、1,400万円の減額となっております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。

よろしいですか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 下水の関係で、浄化槽整備事業補助金が979万4,000円。37基が17基しか設置をされなかったということの中で、当初の計画からすれば随分、17基ということは20基減っているわけですが、その見極めが、なぜ37基が17基になったのかということについての説明をいただきたいと思います。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） まず、37基の根拠ですが、過去3年間の実績を基に予算計上いたしております。

数が減ったことにつきましては、普及が進まない理由としては、補助金の啓発不足もあるものと考えております。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 今課長言われましたけど、補助金に対しての啓発が非常に私は低下しておるのではないかなど。要するに、合併浄化槽の推進についての考え方あるいはやり方が、下水道事業がなかなか進んでないような状況の中で、どうかということについては考え方がいろいろあると思うんです。そのことの考え方については私の考え方は述べられないんですけど、浄化槽の推進の仕方がよくなかったということについては反省されておられるようなので、それは結構なんですけど、今後の計画について、このようなことでは浄化槽の推進がなかなか進まないのではないかというふうに思うんですけど、今後の浄化槽の推進についての見解をいただきたいというふうに思います。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） 今後につきましては、広報に掲載したり、市のホームページで通年を通じて掲載して、また区長会等での機会がいただけるのであれば区長会等での周知も含め、普及促進に向け一層取り組んでまいりたいと考えております。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 常に執行部の方が言われるのは、広報紙等を活用しての推進あるいは啓発を常にそういうふうな発言をされるんですね。そういうふうなことを広報を通じてやはり推進、啓発をしてもなかなかそのことについては、私は市民の方々には伝わらないのではないかなど。要するに、本当に推進をされるのであれば、重点地区を設定をされた中で、そういうふうなことについて説明を果たしていくとか、やり方についてはいろいろあると思うんです。要するに、ホームページとか広報紙とかを活用しても、なかなか推進にはつながらないと思うんですけど、そういうことについて今後やられる考え方があるかないかということについて確認をさせていただきたいというふうに思います。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員の御指摘、ありがとうございます。

やはり、浄化槽が必要な地域というのは旧来の地域でございます。自治会が以前より十分発達しておる地区でございます。区長さんなどと連携をし、重点的にローラー作戦などもその地区の状況に応じた普及促進策に取り組んでいきたいと考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ちょっと暫時休憩させてください。

午前11時59分 休憩

午前11時59分 再開

○分科会委員長（佐々木雄司君） 再開いたします。

そのほか質疑ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで質疑を終わりたいと思います。

続きまして、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の産業建設常任委員会所管部分を議題とし、これから審査を行いたいと思います。

執行部から補足説明がありましたらよろしく申し上げます。

なお、説明は先ほど申し上げましたけども、予算書及び説明資料のページ番号を言ってから

行うようによろしくお願いいたします。

それではまず、産業振興部のほうからお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 本件につきまして、農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より補足説明申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、農林課の所管の部分の御説明をさせていただきます。

予算書138、139ページ、説明資料は66、67ページを御覧ください。

6款農林水産業費でございますが、この款には産業振興部と建設事業部の予算が計上されております。産業振興部関係で主なものでございますけれども、1項1目には、農業委員の報酬などの農業委員会の運営費を計上しております。

それから次に、予算書142から145ページになります。説明資料は66から69ページ。

3目農業振興費でございますが、この目は農業関係振興施策に関する経費でございます。経営生産対策推進事業、農作物鳥獣被害防止対策事業、中山間地域等直接支払交付事業、地域おこし協力隊施設管理費などの各種事業が含まれております。新年度におきましては、農業振興地域整備計画の見直しに係る経費を計上してございまして、それから中山間地域等直接支払交付金につきましても協定数、協定面積に対応した予算とさせていただきます。

それから、5目の農地費は建設事業部の所管となります。

次に、予算書150から153ページ、説明資料は70から73ページ。

2項林業費には、産業振興部と建設事業部の予算が計上されております。1目林業総務費には、森林環境譲与税を財源とした所有者の意向調査費、それから有害鳥獣対策費を計上しております。

2目林業振興費には、松くい虫対策関係事業と石蓮寺森林公園等の管理経費を計上しております。

以上で令和3年度一般会計予算の農林課分の補足説明とさせていただきます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算、商工観光課所管部分、歳出の主なものにつきまして御説明させていただきます。

予算書では154ページからになります。予算説明資料では72ページからになります。

それでは、予算書154ページ、155ページをお願いいたします。

7款商工費、1項商工費、2目商工振興費では、企業誘致関連事業と中小企業などを支援す



るための商工振興対策事業に係る経費を計上しております。前年比で増額となっております。その大きな要因につきましては令和2年中に操業を開始された企業2者への奨励金の増によるものです。

2目商工費、19節負担金、補助及び交付金の欄、上から3行目、企業立地促進奨励金で1者、それから3行下の企業誘致奨励金で6者、1行下の物流施設誘致促進奨励金で1者を見込んでおります。

ただいま御説明申し上げました奨励金などの近年の推移につきましては、本日お配りしております分科会資料の2ページ上段を御覧いただけたらと思います。予算編成に当たりまして参考といたしましたそれぞれの事業の件数の推移を掲げておりますので御確認いただけたらと思います。

続きまして、予算書では154ページ最終行から161ページ、予算説明資料では74ページから77ページでございます。

156、157ページをお願いします。

3目観光費では、観光施設などの維持管理、観光振興対策に係る経費を計上しております。前年度と比較しまして減となっております大きな要因につきましては、新規事業、選挙後でも対応可能な事業などにつきましては極力抑えていることによるものでございます。また、本市の主な観光施設における入り込み客数につきましては、近年の動向を先ほどの分科会資料2ページの下段にお示しをしております。本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減っている状況でございます。後ほど御確認いただけたらと思います。

それでは、観光費の主なものについて御説明いたします。

予算書157ページ、3目観光費、8節報償費は、地域おこし協力隊4名分を計上しております。

続きまして、予算書159ページ上から2行目、設計・施工監理委託料では、城山公園整備に係る設計委託料を計上しております。

続きまして、予算書161ページ、28節繰出金は、竜天オートキャンプ場特別会計への繰出金で、特別会計のほうの前年度繰越金が新型コロナウイルスの影響により大幅に減額となったことにより増額をしております。

以上で補足説明とさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

続きまして、建設事業部、よろしくをお願いします。

○建設事業部長（杉原洋二君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 杉原建設事業部長。

○建設事業部長（杉原洋二君） 建設事業部のほうで補足説明がありますので、建設課、上下水道課、それぞれに担当課長より説明をさせていただきます。なお、地域整備推進室につつま

しては、本年度骨格予算のため補足説明はございません。

以上です。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算について、建設課から補足説明をさせていただきます。

予算書146ページからと、予算説明資料の70ページからをお願いいたします。

6、農林水産業費、1、農業費、5、農地費として、1、一般管理費、3、元利償還助成事業費、4、団体営事業費、5、県営事業費、6、小規模土地改良事業費、7、広域農道整備事業費、8、小規模ため池補強事業費、14、施設管理運営費で、農地費合計3億5,370万7,000円のうち、農業集落排水事業会計繰出金を除く建設課所管は2億8,836万3,000円となり、対前年度8,417万9,000円のマイナスとなっております。マイナスの主な要因としましては、正崎堰補修事業のめどが立ったことによる事業費の縮小、また新規事業及び選挙後でも対応可能な事業については極力予算化を抑えていることによるものです。

続きまして、予算書は162ページからと、予算説明資料は78ページをお願いいたします。

8、土木費、2、道路橋梁費、3、道路新設改良費として2億1,930万円となり、対前年度1億1,080万円のマイナスとなっております。マイナスの主な要因としましては、鳥上中央線、門前池線改良の予算措置のめどが立ったことによる事業費の縮小によるものです。

続きまして、予算書166ページからと、予算説明資料は同じページをお願いします。

8、土木費、4、都市計画費、1、都市計画総務費、都市計画総務費1,374万6,000円のうち、建設課所管の一般管理費は1,257万3,000円となり、対前年度272万3,000円のマイナスとなっております。マイナスの主な要因としましては、熊山駅前周辺整備事業の完了による事業費の縮小によるものです。また、対前年度でマイナスとなっている予算科目が多くなっておりますが、マイナスの主な要因としては、新規事業及び選挙後でも対応可能な事業等については極力予算化を抑えていることによるものです。

なお、建設課所管事業を建設事業部資料1ページにまとめておりますので、詳細についてはそちらを御確認をお願いいたします。

以上です。

○上下水道課長（塩見真康君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 塩見上下水道課長。

○上下水道課長（塩見真康君） それでは引き続き、上下水道関係の補足説明をいたします。

予算書の133ページから135ページ、説明資料では64ページ、65ページになります。

4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、19節負担金、補助及び交付金で、浄化槽整備事業として987万円の歳出を予定しています。こちらにつきましては、合併浄化槽20基分に対す

る設置補助金と県負担金としております。

ページが変わりまして、予算書の139ページ、説明資料では64ページから67ページになります。

4款衛生費、3項上水道費、1目上水道施設費で、19節負担金、補助及び交付金として、合計で2,278万円を予定しています。こちらの主なものとしては、岡山県広域水道企業団への運営負担金でございます。行が変わりまして1行下になります。24節投資及び出資金として1,973万5,000円を予定しています。こちらにつきましては、岡山県広域水道企業団への出資金でありまして、平成元年度以前の起債分と建設時の負担分を合わせたものとしております。行が変わりまして1行下になります。28節繰出金として6,853万4,000円を予定しています。こちらにつきましては、統合前の簡易水道建設に係る経費で、元金分と利子分の償還金3,865万7,000円と集会所等の水道料金減免分など2,987万7,000円の合計を繰出金として予定しております。

ページ変わりまして、予算書の149ページ、説明資料では70ページ、71ページになります。

6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費、28節繰出金で6,534万4,000円を予定しています。こちらにつきましては、奥吉原、勢力、仁堀の3地区の農業集落排水事業への繰出金として、元利償還等でございます。

ページが変わりまして、予算書169ページ、説明資料では78ページ、79ページになります。

8款土木費、5項下水道費、1目下水道整備費、28節繰出金で8億2,181万8,000円を予定しています。こちらにつきましては、下水道事業会計への繰出金でございます。こちらは、下水道事業債の償還等でございます。

以上で上下水道課の補足説明とさせていただきます。

○分科会委員長（佐々木雄司君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

それでは、質疑に入りたいと思いますが、質疑のほうは歳出の款ごとに進行させていただきたいと思いますので、御協力お願いいたします。

まず、132ページから139ページまでの4款衛生費につきまして質疑を受けたいと思います。

ちなみにですが、産建所管部分が133ページの2項清掃費の県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金、135ページの浄化槽整備事業補助金、138ページの3項にあります上下水道費でございます。御参考にしてください。

それでは、質疑を受けたいと思います。委員さんのほうでございましたらよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○分科会委員長（佐々木雄司君） 質疑がないようですので、これで4款衛生費の部分につき

ましては質疑を終わりたいと思います。

次に、138ページから153ページまでの6款農林水産業費につきまして質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんでしょうか。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 鳥獣被害防止対策についてお伺いいたします。

農家の皆さんに対するアンケート調査で、イノシシに次いでカラスが深刻な状況だというような報告が本年ありました。そして、次年度にカラス対策をしっかりとるんだというような執行部のお話もありました。今回の予算にどのように反映しているのか、御答弁をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの治徳委員の御質問にお答えいたします。

これは、予算書で申しますと145ページの下の方に、鳥獣被害防止対策協議会補助金というのがございます。実は、この中に事業費が含まれているのですけれども、おっしゃったように、カラスの被害が結構深刻になっているということをお伺いしておりますので、新年度におきましてはカラスを鷹匠で追い払うような、それからこれは鳴き声とかそういったもので反応があるらしいのですけれども、そういったことに事業として取り組んでいきたいと思っておりますので、この中に予算的には含まれております。

以上でございます。

○委員（治徳義明君） よろしいです。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 153ページの松くい虫防除事業についてお聞きします。

松くい虫の駆除ということで、旧の山陽の頃からいろいろ反対があって、いろんなところでやめられるところが結構あるんですけども、目的ははっきりとした、森林の保護ということなんですけど、松は全域にありますよね、赤磐の。それで私、考えてみるのに特定地域の方向にここ何年か見たら、松の保護で駆除対象でやっとなるのは北部の地域というんですか、そういうところが対象でやっておると思うんですけども。これは地元要望で基本的にはやっとなんですか。こっちの南のほうでは松くい虫に関してはやらないという方針よりも、地元の要望が出てこないからやってないということなんですか。その辺、やめた理由は健康被害があるんで

はないかというようなことで、いろんな地区の、今までやられとったところもやめてます。どうなんかなと思うて。松くい、アカマツを守るためという話をよう言われるんじゃけど、だったらこれはやっぱりもう一遍多くの人に諮って、全域を対象にしてやるかやらんかを決めにゃあおえん話じゃと思うんです。特定の区域であれば、私の勝手な想像ですけど、仮にマツタケが影響するような区域の松を保護しているのであれば、そういう理由をはっきりしたほうがええと思うし、やっぱり健康被害というのは気にされとる方が多いんで、そこら辺の考え方を聞きたいと思って。それは松のほうじゃというたら、こっちのほうがもっと状況が悪いんじゃから、松を守るという話ならやらにゃあおえんのじゃねんかなと。ただ、マツタケ山を守りたいからその部分だけしとんなら、私個人としてはそれはそれでもいいと思うとんですよ。どうなんかなと思うて、方針的なものが。ちょっとその辺をお聞きしたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの保田委員の御質問にお答えいたします。

松くい虫の防除につきましては、今吉井地域と熊山地域で行わせていただいております。やはりもちろん地元の御要望もいただいておりますけれども、昨今のこういう災害の多い状況でございますから、山をまず、市としても守っていかなければというのが、市民を災害から守るためでもありますけれども、山を荒らすと結局は広島地崩れが起きて住宅がかなり流れてしまいましたけど、ああいう状況にもなってくると思うんですけど、そういったことも防いでいかなきゃいけないということで、旧町で、もちろん山陽町や赤坂町は割と早めに松くいの防除をやめられたんですけど、やはり私も赤坂の出身ですから、由津里の奥のほうも八束林道走っておりますけど、かなり荒れてます。かなり松が倒れて道も通れないような感じになってますけども、これ以上そういう荒廃も防がなきゃいけませんし、地元から根強く御要望もいただいておりますので、やはりこれは続けていかなきゃいけませんし、それからあと、健康被害などを耳にすることもございますけれども、そういったことはもちろんかなり慎重に注意しながら行っていると思います。これでまだまだヘリコプターによる防除以外でも、例えば何かもっといい方法があればそういったことも取り入れてやっていきたいと思っておりますけれども、今県の基準とかそういったものを遵守して行っておりますので、そのあたりで行こうかなと思います。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 分かりました。

しかし、森を守るとか水を守るとかというたら、針葉樹的なものとか落葉樹とか、水をカバーできるようなものを、森を守るとかというのと松との兼ね合いが、山が荒れていきようの中で、森を守るとかいう、災害を防ぐためにというたら、松じゃないものを基本的には植樹してやっていくというのが基本じゃと思うし。本当、松がこのまま、今の現状の中で……。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長、予算について質疑をしていただけますか、

すいません。

○分科会副委員長（保田 守君） この予算をずうっと継続して、継続的にやっていかれるつもりなんですか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 答弁お願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 空中散布による松くい虫の予防事業につきましては、昭和40年代から継続して、先ほど申しました吉井、熊山の2地区におきましては継続実施をしております。それによる効果が十分発揮されておるというふうに認識をしておりますので、現在のところ、この防除方法に代わる有効な方法が見つかるまでは継続実施をするということ考えております。

以上でございます。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 分かりました。

効果が今のやり方でかなりはつきり出るとということなんですね。出とるのは分かって、今言われとるから、多分出とんだと。昨年もそういう見解ではつきり出ていることを言われたんで。僕が心配しとるのは、続けていくことによって環境へ影響が出るんじゃないかというようなことで、環境への影響の調査とかというのは今後される予定はないんでしょうか。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 予算の範囲で答えてくださいね。事業の範囲ではなくて。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの保田委員の御質問です。

環境影響調査自身は予算も考えておりません。

以上です。

○分科会副委員長（保田 守君） よろしい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかありますか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 145ページの、この負担金、補助及び交付金について1つお伺いしたいんです。中山間地域等直接支払交付金の内容について、詳細について説明いただきたいんです。

それからもう1つ、産地パワーアップ事業助成金、このことについての内容についても説明をお願いしたいと思います。

それから、一番最後の次世代農業振興事業補助金、私はこれが一番大切なんではないかなと思っておりましたら、座だけの1,000円ということで、これは骨格予算だから座だけにしていいのか、計画はないのか、そのことについても説明をいただきたいと思います。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） まず、中山間地域等直接支払ですけれども、これにつきましては制度の内容は委員御存じでしょうかね。中山間地域は要するところ、傾斜地の傾斜によって補助金が支払われます。今、赤磐市の状況でございますけれども、今日分科会の資料におつけしておりますけれども、分科会資料1ページですけれども、日本型直接支払で、中山間地域直接支払交付金ということで、協定の面積やそれから協定数をお載せしております。新年度においてはこういうふうな541ヘクタールで地区は45地区を予定しておりますということで今載せております。

それから次の、産地パワーアップの助成事業でございますけれども、これにつきましては実は今までこういう類いのは県の補助金が多かったんですけれども、これにつきましては国庫の補助金になります。新たに令和3年度から赤磐市でもやっていくんですけれども、事業の内容としましては収益性の向上対策としまして、農業機械やそれから生産資材の導入を行っていただく農業者の方、組織、団体等にこれを適用していこうということで考えております。

それから、3番目の次世代農業振興事業補助金につきましては、おっしゃるとおり、まだこれ座だけでございますけれども、これについては御要望をいただいたものがまだございませんので、今後それについても御要望をいただきながら事業の振興を考えていきたいと考えております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私、ちょっと理解力が悪いのかもしれないんですけど、中山間地域等直接支払交付金について、内容をもうちょっと詳しく説明をしていただきたいんです。資料をいただいておりますけど、全然今言う、何年か前と変わってないんで、その辺のことについてももう少し詳しく御説明いただきたいと思うんです。

それから、産地パワーアップ事業補助金については、要望を聞かれておるんですか。要望を聞かれた中での予算計上なのか、見込みで予算を計上しておられるのか、そのことについての確認をさせていただきたいと思います。

次世代農業振興事業補助金については、よろしいです。よろしく願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの佐藤委員の御質問です。

まず、中山間地域等直接支払交付金につきましては、国の施策が5年ピッチで変わります。第4期の対策が終わりまして、この年度から第5期の対策が開始されております。今まで例えば田で急傾斜の部分は補助金が2万1,000円出ておりました。反当たり。それから、緩傾斜でも6,400円というのが8,000円に変わっております。今ちょっと説明おかしかったですね。急傾斜の分、今まで1万6,800円だったのが2万1,000円になっております。

8割単価というところがありまして、そこが1万6,800円が10割単価2万1,000円、それから同じく緩傾斜で6,400円の部分が8,000円とか、そういうふうに細かい部分は少し変わっております。

それからあと、産地パワーアップの御要望につきましては、もちろん部会等で要望をお聞きしておりまして、それによりましてこういう数字を計上させていただいております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

そのほか、農林水産業費の中で御質疑ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、次に行きたいと思えます。

次に、152ページから161ページまでの7款商工費につきまして質疑を受けたいと思えます。

質疑はありませんでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 157ページの地域おこし協力隊員の報償費の関係について、4名というこの説明がありましたけど、これはどこの地域でしょうか。このことについて詳細を説明していただきたいと思えます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 佐藤委員の、地域おこし協力隊の範囲ということで御質問いただいております。

現在の隊員、商工観光課関連は3名おられます。広域観光、熊山英国庭園、観光協会関連でございます。広域観光関連の隊員1名が令和3年11月で期限が来まして退任ということになっております。そういったことから、広域観光の隊員1名を追加募集というふうに考えております。

以上です。



○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいでしょうか。

商工費関係で質疑があればお願いいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 159ページの設計・施工監理委託料の関係で、城山公園が今回の設計・施工監理委託料の121万円という説明があったんですけど、内容について、どういうことを計画されておるのでしょうか。そのことについての説明をお願いします。

○吉井支所産業建設課長（中務浩行君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 中務吉井支所産業建設課長。

○吉井支所産業建設課長（中務浩行君） 城山公園の設計につきましては、現在かやぶきの屋根のかなり老朽化が進んでおります。そちらのほうも含めまして、全体的な老朽化対策のためにここで設計をさせていただこうという計画でおります。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） そのほかありますか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、次に行きたいと思います。

土木費です。160ページから171ページまでの8款土木費につきまして、これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 163ページの美作岡山道路負担金1,516万2,000円。このことについての内容について説明をしていただきたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 美作岡山道路の負担金につきましては、県の事業でやっております。県から来年度の負担金の額を確認させていただきまして、調査、設計等の負担金として1,516万2,000円の一応予算確保の依頼が来ておりまして、そうさせていただいております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） その調査、設計の場所について、どこが対象になっておるかということが確認しなかったもので、そのことについて説明をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 調査、設計の場所については吉井インターチェンジから英田インターチェンジまでの間の測量、設計、調査となっております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 英田インターまでということなんですけど、美咲町は全く前に進まないというようなことを聞いておったんですけど、今回予算が県のほうから赤磐市の負担として1,516万2,000円負担の要請をされておられるようなんですけど、その辺の進捗については前に進むという解釈でよろしいんでしょうか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 進捗については、測量等も入っておりまして、調査、設計についても進捗しているということ聞いております。

以上です。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。

○分科会副委員長（保田 守君） はい。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 保田副委員長。

○分科会副委員長（保田 守君） 167ページの耐震事業補助金。これは何戸を予定しとんですか。木造住宅主体ということですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 委員のお問合せの件ですけれども、建築物耐震診断で5件を予定して計上しております。改修工事として1件の予算を見込んでおります。

以上です。

○分科会副委員長（保田 守君） 分かりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） いいですか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 同じく167ページの負担金、補助及び交付金の中で、空家等除却事業

補助金150万円。今空き家が市内において非常に増えておるといような状況の中で、この150万円の金額で私は足りないのではないかなという予感はおしておるんですけど、この150万円の根拠について説明をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○分科会委員長（佐々木雄司君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） この空家等除却事業補助金の根拠につきましては、来年度3件見込んでおります。これにつきましては、除却費の3分の1、上限が50万円ということで、3件掛ける50万円で150万円の予算を計上しております。令和2年度実績は1件でありました。来年度については3件で対応できるものと考えて計上しております。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○分科会委員長（佐々木雄司君） よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、土木費、これで終わりたいと思います。

次に、224ページの11款災害復旧費につきまして、これから質疑を受けたいと思います。

質疑ありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） ないようですので、これで災害復旧費につきましての質疑を終わりたいと思います。

以上で当分科会の審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐々木雄司君） それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には、御協力もいただきまして、また長時間にわたり大変お疲れさまでございました。

これで予算審査特別委員会産業建設分科会を閉会といたします。お疲れさまでした。

午後0時42分 閉会